

平成30年度動物実験に関する自己点検・評価報告書

青森県立保健大学
動物実験委員会

平成31年4月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 青森県立保健大学における動物実験に関する指針 平成20年4月1日規程第144号（最終改正平成24年4月1日）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 機関内規程が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 青森県立保健大学における動物実験に関する指針 平成20年4月1日規程第144号（最終改正平成24年4月1日） ・ 青森県立保健大学動物実験委員会規程 平成20年4月1日規程第39号（最終改正平成24年4月1日）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 動物実験委員会が適正に運営されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず

3. 動物実験の実施体制（動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか？）

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 □ 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 □ 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 青森県立保健大学における動物実験に関する指針 平成20年4月1日規程第144号（最終改正平成24年4月1日）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 「青森県立保健大学における動物実験に関する指針」が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制（遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか？）

1) 評価結果 □ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。 □ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 □ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。 ■ 該当する動物実験は行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 該当せず
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 該当せず
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず

5. 実験動物の飼養保管の体制（機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか？）

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・ 青森県立保健大学における動物実験に関する指針 平成20年4月1日規程第144号（最終改正平成24年4月1日）

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

「青森県立保健大学における動物実験に関する指針」に基づいた適正な飼養保管の体制である。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当せず

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

動物実験の最近の情報を入手し、適正な動物実験が実施されることを目的として、公私立大学実験動物施設協議会に入会した。
入会手続時に「青森県立保健大学における動物実験に関する指針」が国に定める基本方針等にそぐわない部分があると指摘されたことから、当該方針を廃止し、新たに「青森県立保健大学動物実験規程」を制定し、平成31年4月1日より施行することとした。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会（動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか？）

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合し、適正に機能している。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 青森県立保健大学における動物実験に関する指針 平成20年4月1日規程第144号（最終改正平成24年4月1日） ・ 青森県立保健大学動物実験委員会議事録
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 「青森県立保健大学における動物実験に関する指針」に基づき、適正な活動を実施している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず

2. 動物実験の実施状況（動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか？）

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 動物実験計画審査願 ・ 動物実験委員会審査結果 ・ 動物実験終了報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が適正に実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況（当該実験が安全に実施されているか？）

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 該当せず
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 該当せず
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず

4. 動物実験の飼養保管状況（飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか？）

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 青森県立保健大学における動物実験に関する指針 平成20年4月1日規程第144号（最終改正平成24年4月1日） ・ 実験動物の納品伝票
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 「青森県立保健大学における動物実験に関する指針」に基づき、飼養保管が適正に実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず

5. 施設等の維持管理の状況（機関内の飼養保管施設は適正な維持管理が実施されているか？修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか？）

1) 評価結果 ■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 青森県立保健大学における動物実験に関する指針 平成20年4月1日規程第144号（最終改正平成24年4月1日）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 適正に維持管理が実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず

6. 教育訓練の実施状況（実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか？）

1) 評価結果 ■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験に関する教育訓練資料（平成30年5月8日） 参加者名簿（参加人数 37人）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練が適正に実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず

7. 自己点検・評価、情報公開（基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか？）

1) 評価結果 ■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 青森県立保健大学における動物実験に関する指針 平成20年4月1日規程第144号（最終改正平成24年4月1日） ・ 動物実験に関する自己点検・評価報告書 ・ 青森県立保健大学研究推進・知的財産センターホームページ
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 情報公開を平成23年度より実施している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず

8. その他

1) 青森県立保健大学動物実験委員会の構成 5名 内訳：青森県立保健大学動物実験委員会規程第3号に基づき、(1)研究開発科長、(2)社会福祉学科を除く各学科ごとに、教授、准教授、専任の講師又は助教のうちから1名、(3)地域連携推進課長
2) 平成30年度の動物実験計画申請書の審査件数 6件（別記「平成30動物実験計画申請一覧」参照）
2) 平成30年度の実験動物種ごとの飼養数 ・ ラット 63匹 ・ マウス 48匹

別記

○平成30年度動物実験計画申請一覧

承認番号	研究者名	研究課題名
18001	井澤 弘美	解剖生理学実験Ⅱ（栄養学科 専門支持科目）でラットを使った血球観察および血糖調節作用実験
18002	李 相潤	ストレスの重複と運動負荷が酸化ストレス度及び抗酸化能に及ぼす影響
18003	李 相潤	低温環境が酸化ストレス及び抗酸化能に及ぼす影響
18004	佐藤 伸	栄養学科の学生実験「生化学実験Ⅱ」（2年次後期開講）：糖尿病モデルラットにおける血液・尿性状の解析および肝・腎中タンパク質の SDS-PAGE 電気泳動による分離
18005	佐藤 伸	非アルコール性脂肪性肝炎 NASH モデルマウスの肝臓における酸化ストレスならびに炎症に及ぼすリグノフェノールの影響
18006	小池 祥太郎	輸液実施部位の中樞側から血管外漏出を予防しながら採血するための基礎研究